にぎ　もり
賑わいと安らぎの杜の都 真庭

Maniwa Public Relations

広報真庭

7
2014
第111号

よそいます、歌います
この木造校舎守りたくて

６月17日、白いかっぽう着に身を包んだ「配膳ボーイズ」がテーマソング「あなたによそいたくて」を披露しました。ボーイズは、旧遷喬尋常小学校で「なつかしの学校給食」を提供している住民グループまにワッショイが結成。自分たちで作詞・作曲したその歌には、この学校を守っていきたいという思いがいっぱい詰まっています。

主な記事

訪れたい交流から暮らしたい定住へ

真庭市では、「交流・定住」を最も重要な施策と位置付けています。全ての施策を交流・定住につなげ、魅力ある地域づくりと交流産業の推進、そして移住定住の推進を目指しています。今年4月には、情報収集・発信の拠点となる「真庭市交流定住センター」がオープン。今回は交流定住センターとふるさと回帰をテーマにして行う愛ラブ真庭ＰＲ大作戦について紹介します。

真庭市交流定住センターでは、地域おこし協力隊と集落支援員が移住相談などの業務を行っています。後列左から、松尾敏正さん、海野文雄さん、松本哲一さん（集落支援員）、前列左から、山形彩子さん、伊藤めぐみさん

交流定住推進計画を策定 5年で社会増目指す

真庭市は、今年3月に「真庭市交流定住推進計画」を策定しました。これは、あらゆる分野の施策を連携して交流産業を推進し、定住人口の増加を図るためのもの。真庭市が「訪れてみたい」「住んでみたい」と思われ、「自分らしい生き方を実現する」場として選択されるようになることを目指しています。計画では、交流定住を進める5つの基本方向によって、今ある施策の整理や新規施策の策定をする考え方を示し、転入者が転出者を上回る『社会増』を平成30年には実現するという目標を設定しました。

戦略プランで交流定住センターを計画

また、同時に具体的な施策を盛り込んだ「真庭市交流定住推進戦略プラン」も策定し、4つの重点施策を掲げました。その一つとして計画されたのが交流定住センター機能の整備。これを受け、4月23日に移住や定住の情報収集・発信拠点となる「真庭市交流定住センター」がオープンしました。

真庭市交流定住推進計画

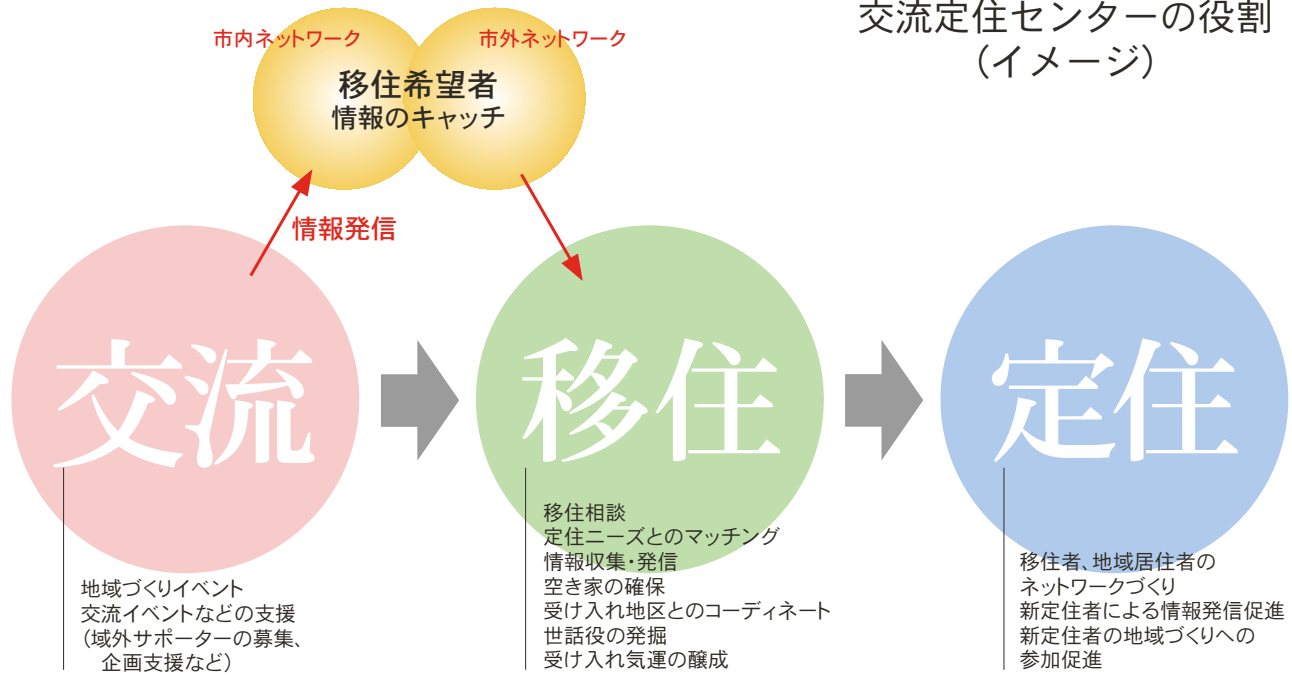
▶交流定住推進の基本方向

①活用する地域資源の発掘・創出
②各段階での施策の連携
③新たな交流分野の創出
④ネットワークと情報の活用
⑤地域力の強化を支援する

真庭市交流定住推進戦略プラン

▶重点施策

①シティプロモーションの推進
❷交流定住センター機能の整備
③交流定住の推進を目的とする法人組織の設立
④真庭市ネットワークの構築

真庭市交流定住センターでは、移住や定住に関する情報収集や発信のほか、地域活動の支援も行います。真庭市へのUターン、Iターンを考えている人へのワンストップ窓口として、市民と行政が一体となった地域づくりの拠点となることを目指しています。
また、市役所の振興局、各支局には交流定住センターの分室を設けており、地域振興主管に任命された職員が中心となって、各地域での交流や定住に関する事業に取り組んでいきます。

真庭市交流定住センター

真庭市久世2374-3（真庭市市民活動支援プラザ内）
TEL 0867-44-1037（代表）
080-2930-8023（直通モバイル）
FAX 0867-44-1037
開館時間▶10:00～17:00
休業日　▶月曜日

業務内容

①交流、移住、定住に係る調査、情報収集、情報発信、情報共有
②交流、移住、定住事業
③移住・定住の相談業務
④地域資源の発見、高付加価値化の支援
⑤地域資源を活用した産業化の支援
⑥地域の情報化、情報発信

真庭市空き家情報バンク

真庭市では、個人が所有していて現在居住していない市内の住宅で、所有者が賃貸、売買したいという物件を空き家情報バンクに登録しています。登録された物件は、市がホームページなどに公開し、移住希望者に紹介する仕組みを作っています。

問 総合政策部総合政策課　TEL0867-42-1169

登録された物件は、住まい探し支援サービス（http://www.ok-smile.jp/ij_pub/？mid=1007）で検索することができます

interview

真庭市交流定住センターで移住相談などの業務もこなす地域おこし協力隊。そのリーダーである松尾敏正さんに、隊員の活動やセンターのことについてお話を伺いました。

真庭市地域おこし協力隊
リーダー **松尾敏正** さん

地域活動と移住のお手伝い

私たち地域おこし協力隊は現在4人で活動しています。協力隊というと「ある集落に住み込んで地域の中心で活動をする人」と思われがちですが、真庭市の協力隊の仕事はちょっと違います。4人が自分なりのスタイルで動いていますが、基本的な活動は地域活動のサポートやコーディネートといった側面からのお手伝いです。そしてもう一つが交流定住センターの業務。ここを協力隊の活動拠点としながら、移住相談業務も行っています。とはいっても、まだ真庭にやってきたばかりですから、知識も経験もなく苦労することが多いですね。幸い集落支援員の松本さんがいてくださるので、いざというときには頼りにしています。

情報をキャッチし発信を

現在私たちは、「地域カルテ」といったものを作成しています。これは、学校や病院、買い物をするお店など、その地域の生活情報をまとめたものです。つまり移住を考えたときに知りたい情報ですね。真庭市は広いのでまだまだこれからですが、地域自主組織や自主防災組織といった地域の皆さんにご協力をお願いしながら、市全域の情報をくまなくキャッチしていきたいです。また、空き家や雇用に関することなど移住を可能とする情報を発信するホームページ「交流定住プラットフォーム」の作成にも取り掛かっています。

4人目の協力隊員となった山形彩子さん（5月28日の委嘱式）

きっかけや決め手が大切

私たち自身も移住者の一人。そういった立場でも移住希望者のお役に立てることがあるはずです。現在取り組んでいるフェイスブックを使った移住者同士のネットワークづくりもその一つです。移住してくれたら後は自由にという考え方もありますが、苦労するのは暮らし始めてから。悩みや苦労を相談できる環境づくりは大切です。こういったことも、移住をするときの安心感につながるのではないでしょうか。移住や定住にはきっかけや決め手が必要だと思います。私たち地域おこし協力隊はその活動を通じて、きっかけや決め手を提供できるような、地域のサポート役としてしっかりやっていきたいですね。

真庭で 働く

立地着々、雇用拡大に期待

工場などの新規立地や増設により地域の雇用拡大を図る真庭産業団地。市では、優遇制度の拡大や積極的なＰＲで誘致活動を進め、平成25年度以降で４社の立地が決定しました。中でもバイオマス発電では、発電所での直接雇用のほかに、木の切り出しや搬出といった間接的な作業で百人規模の雇用が期待されています。平成27年４月には４社全てが稼働予定です。

[立地企業４社の概要]

- エスアンドエスプロダクツ㈱
  食品用プラスチック容器の製造
- ㈱真庭バイオマス発電
  未利用木材などを燃料とした発電
- ㈱菱善
  製紙用チップなどの製造
- 真庭木材事業協同組合
  燃料用木質チップの製造

着々と建設が進むバイオマス発電所

愛(ラブ)Love真庭PR大作戦 第3弾!

ふるさとPRはがきを挿入しています

愛ラブ真庭PR大作戦の第3弾として、はがきを挿入しています。第1弾の「観光」、第2弾の「ふるさと納税」に続いて、今回は「ふるさと回帰」がテーマ。8月に開催するふるさと回帰フェアのご案内も兼ねていますので、真庭を離れているお子さんやご友人に「真庭に戻ってきませんか」といったメッセージを送りましょう。もちろん、真庭がふるさとでない人でも結構です。交流定住の始まりは情報発信から。市民皆さん一人一人がキーマンです。ぜひご協力をお願いします。

市役所窓口にも用意しています

絵はがきは3枚1セットになっています。足りない場合は、市役所本庁舎や振興局、各支局の窓口に用意していますのでご利用ください。（数には限りがあります）

ふるさと回帰フェア

ふるさとに帰りたい！真庭で暮らしたい！を応援するイベントを開催します。就職やUIJターンの総合相談デスクなどを設けます。お盆で帰省中のご家族やお知り合いなどお誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

8月
11日(月)～15日(金)
10:00～16:00
市役所本庁舎にて

就職＋移住・定住

★真庭にUIJターンを希望する人で、フェア当日に愛Love真庭PR大作戦のはがきを持参された人には、抽選で記念品をプレゼントします。

問い合わせ先

就職・雇用に関すること	産業観光部商工観光課	TEL 0867-42-1033
移住・定住に関すること	総合政策部総合政策課	TEL 0867-42-1169

公共施設白書

抱える課題明らかに

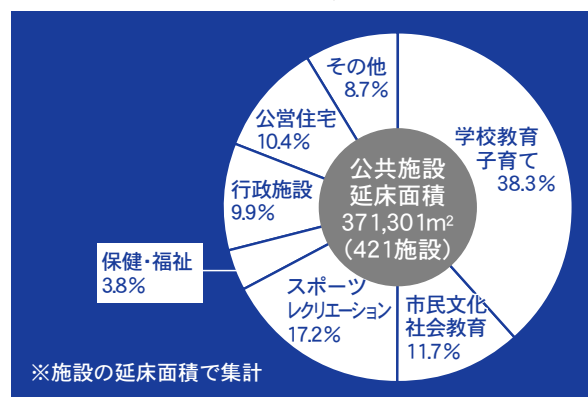
真庭市が所有する公共施設について、建物の性能（品質）、コストの状況（財務）、利用の状況（供給）の課題を明らかにした「公共施設白書」を策定しました。白書の内容と今後の計画について、総合政策部総合政策課の八木主任に伺いました。

公共施設の現状

公共施設の現状

現在、全国の自治体で高度成長期に整備した公共施設や道路などの老朽化の進行と、それに起因する事故も発生しており、社会問題となっています。さらに、多くの自治体で施設を維持するための費用が財政の大きな負担となっています。こうした中、国は、早急に公共施設の状況を把握し、更新・統廃合・長寿命化など計画的な管理を行うことを各自治体に要請しました。真庭市も、老朽化や更新費の負担が市の財政運営上、大きな課題となることが見込まれ、課題解決に向けて公共施設の在り方を見直していく必要があります。

公共施設数は「421」

現在、真庭市内には延床面積で約37・1万平方メートル、421の公共施設があります。なお、インフラ施設である上下水道施設と地元へ譲渡方針のコミュニティ施設は調査から除外しています。施設を用途別に見ると、学校教育施設・子育て施設が全体の4割近くを占めています。また、他の自治体では、スポーツ・レクリエーション施設の割合が10パーセント未満であるのに対して、真庭市では17・2パーセントとなっており、観光地域としての特徴がよく表れています。

真庭市の公共施設の保有状況

公共施設の維持・更新は、深刻な問題となっています。

総合政策部総合政策課
八木(やぎ) 和樹(かずき) 主任

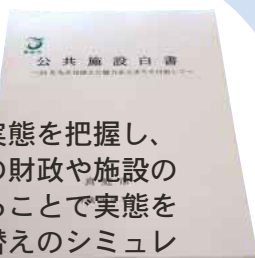
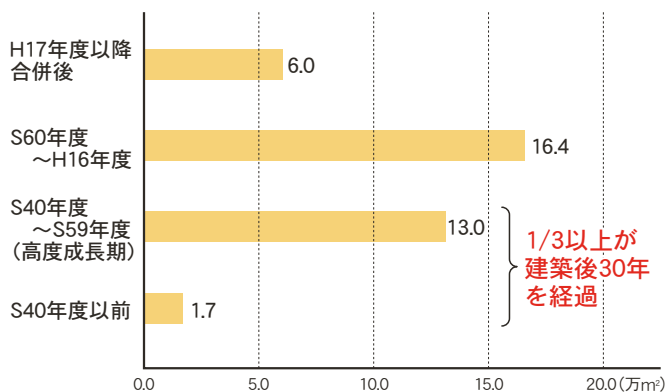
今回「公共施設白書」の策定の過程で明らかになった事実は、行政マンとしても衝撃的なものでした。

まず、今ある施設を全て維持・更新しようとすると、毎年20億円を超える財源不足が生じることです。施設の保有量が全国と比較して多い真庭では、より深刻な問題として私たちの肩にのしかかります。また、施設の利用状況にも問題があることが浮き彫りになりました。例えば、利用者数が年間でわずか数十人といった状況であっても施設維持のため経常的な経費は必要。このような、利用状況と管理費のアンバランスさも問題です。

公共施設の更新問題はよく時限爆弾に例えられます。放っておけば必ず爆発し、その威力は自治体財政を粉々にするほどの破壊力を備えていることからくる例えです。

公共施設白書で判明したさまざまな課題を含め、あらゆる情報を共有しながら、市民の皆さんも、本当に必要な施設の選択や統廃合、最も適した施設配置など、財政面や将来の子どもたちに負担を残さないよう施設のあるべき姿を一緒に考えていきましょう。

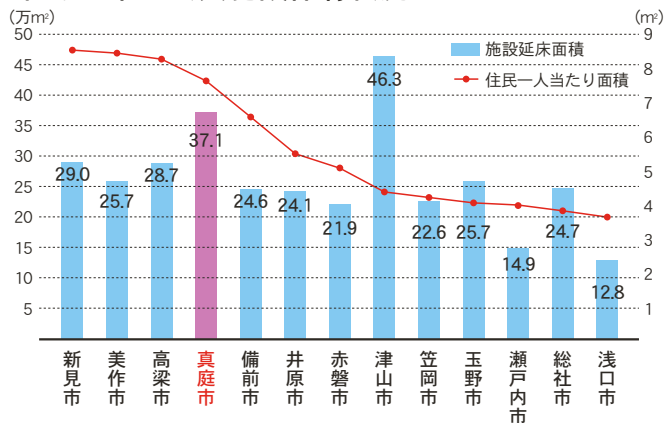
「公共施設白書」とは…

自治体が所有する施設の実態を把握し、取りまとめたものです。市の財政や施設の運営、利用の状況を整理することで実態を把握し、将来の改修や建て替えのシミュレーションや課題を検討する資料として作成されたものです。

真庭市の公共施設の整備状況

老朽化が進む施設

次に真庭市の公共施設の整備状況を見てみましょう。施設を年齢で表すと、平均年齢は28歳（寿命は60歳）となっており、大規模な改修（メンテナンス）が必要とされる30歳を迎えようとしています。また、施設ごとに見てみると、建築後30年を経過した建物は全施設の3分の1以上となっています。今後、施設の老朽化はさらに進行し、10年後には、過半数の建物が建築後30年を経過します。そして、これらの施設の多くは耐震性などの安全面でも課題を抱えています。

県内自治体の状況は？

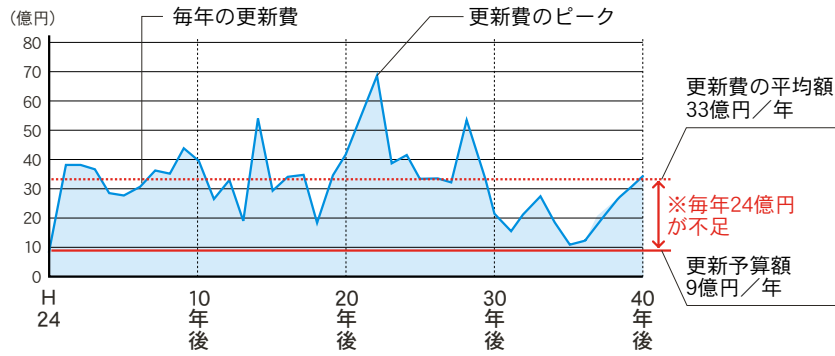
県内の13市（岡山市と倉敷市を除く）の自治体と比較を行った結果、延床面積は2番目の広さです。また、住民一人当たりの延床面積は、7・58平方㍍で4番目です。なお、国の調査結果では、同規模の自治体（人口規模や面積が近く合併している）の平均は6・56平方㍍なので、一人当たりの延床面積は広い状況といえます。公共施設が多い理由は、面積が県内でもっとも広く（人口密度では2番目に低い）、市町村合併に伴い、類似した施設が複数あることも要因の1つと考えます。

県内13市の公共施設保有状況

今後40年の公共施設の更新費推計

※既存施設を全て維持し続けた場合

真庭市役所（本庁舎）
年間維持管理費
約7,244万円

施設の課題山積

更新費約33億円

これから40年間の施設更新（大規模改修や建て替え）として必要な額を試算すると、毎年33億円（住民一人当たり6・8万円）、総額で1300億円以上です。なお、人口が同規模の自治体における住民一人当たりの更新費の平均は年間4・6万円。今ある施設を全て維持し続けていくと、将来の世代は、同規模の自治体よりも2万円以上多い負担となります。また、市財政計画よると更新費として見込める額は、年間9億円まで縮小すると予測しており、毎年24億円もの額が不足する事態となり危機的な状況です。このような将来を避けるためには、施設総量の縮減は、避けられない状況です。

維持管理費約14億円

公共施設白書では、すでに個別の整備方針がある小中学校や幼稚園・保育園、病院などを除いた228施設を対象に維持管理費や施設利用料（収入）も調査を行っています。228施設の年間の維持管理費は、約14億円。更新費だけでなく、施設は維持管理の面から見ても大きな課題といえます。

人口減で利用率低下

今後25年で真庭市の総人口は現在の3分の2まで減少していくと予測されており、人口減少に伴い、施設利用も減っていくことが想定されます。また、少子高齢化がより進行することから、施設の機能（用途）も見直していく必要があります。

人口の将来推計

年齢階級	平成22年（2010年）	平成52年（2040年）
総人口	48,964人	32,487人
幼少人口（0～14歳）	6,150人	3,572人
生産年齢人口（15～65歳）	26,373人	15,535人
老齢人口（65歳以上）	16,441人	13,380人

※国立社会保障・人口問題研究所の推計値

各庁舎の維持管理費

落合庁舎
年間維持管理費
約2,405万円

北房庁舎
年間維持管理費
約2,355万円

蒜山振興局
年間維持管理費
約1,516万円

適正配置目指す

総合的な管理へ

公共施設白書の策定により過去から将来までの施設の状況や人口動態、財政状況から課題がはっきりと見えてきました。この課題に対応するため、施設を経営資源と位置付け、最適な状態（最少の費用と最大の効果）で保有、運営、維持していくための総合的な管理手法であるファシリティマネジメントに取り組んでいく必要があります。そのため、施設ごとにカルテを作成し、施設概要・利用者数・維持管理費など客観的数値を過去3年分の平均値を基にとりまとめ、用途・目的に応じた特性で比較を行っているほか、総合計画に合わせて北部・中部・南部の3つのエリアごとの現状も整理しています。

錆びて脆くなった鉄（イメージ）

ひび割れた壁（イメージ）

適正配置に向けて

公共施設白書と施設カルテは現状の利用者数や管理経費を取りまとめたものなので、今後は、この情報を基に公共施設の見直し（統廃合や再編）に向けた方向性を検討し公共施設の適正配置に取り組んでいくことになります。建設された施設は、維持管理はもちろんのこと、取り壊すことになっても費用は掛かります。一つ一つの公共施設は、市民共有の大切な財産で、施設の見直しは利用者の生活の満足度にも直接つながる大きな問題です。現状より利用しやすい開館時間の設定や施設を集約し多機能化を目指すなど、知恵や工夫によって生活の質を上げるまちづくりは可能です。そのためにも真庭市全体として、教育や観光、福祉など機能別の方向性や施設をどう生かしていくのか、市民の皆さんと一緒に考えていかなければいけません。公共施設のあり方を見直し、将来の世代へ負担を先送りすることのないよう、私たちには自覚と責任を持った行動が求められています。

施設見直しの視点

【保有量】将来の人口規模から適正な保有量まで縮減
【長寿命化】財政的に持続可能な更新費用へ平準化
【機能・用途】市民ニーズの変化に合わせた機能へ転用
【配置】施設の集約化・複合化
【施設運営】利用者増加・民間活用・地区譲渡など

湯原庁舎
年間維持管理費
約810万円

美甘庁舎
年間維持管理費
約1,020万円

勝山庁舎
年間維持管理費
約2,009万円

真庭市総合計画策定ものがたり会議

みんなで描こう 25年後の真庭の姿を

第1回ものがたり会議が5月29日に本庁舎で開かれました。約40人が参加し、市の現状などを踏まえながら25年後の真庭の姿を描く作業に取り掛かりました。この会議は住民意見を総合計画に反映させるためのワークショップで、その回ごとにテーマを定めて話し合っています。第2回（6月10日）は文化・芸術、第3回（6月19日）は健康福祉をテーマに開催されました。8月上旬までテーマを変えながら開催し、みんなの思いを提言書としてまとめて市長に提出します。

和気あいあいと、でも真剣に話し合い、真庭市の25年後の姿を描いていきます

ワークショップの最後はグループごとに発表。地元の高校生も大勢参加し、活躍しています

随時募集中！

ものがたり会議では、随時登録委員を募集しています。参加を希望する人は、総合政策課（TEL 0867-42-1169）にお申し込みください。一緒に25年後の真庭の姿を描きましょう。

※総合計画策定の進捗状況などをお知らせする専用サイトを開設しています。真庭市ホームページのトップページからご覧いただくことができます。

動き

市政に関する動きの一部を紹介します

6/10 はんざきのれんをお披露目

草木染作家の加納容子さんが市からの依頼で制作したのれんが完成し、オオサンショウウオ保護センターに展示されました。それぞれ鶯色と桃色を基調としており、のれんのデザインコンセプトなどが説明されました。

5/30 でんじろうに学ぶ科学の世界

宝くじ助成事業「米村でんじろうサイエンスショー」が、勝山地区の小学生と保護者を対象に、勝山文化センターで行われました。静電気実験や空気砲など、科学の世界を楽しく分りやすく学びました。

散走フォーラム

どんな体験できる？自転車目線で探してみよう

散走の魅力などについて学んだフォーラム

散走フォーラムが6月7日～8日、レストハウス白樺の丘（蒜山上福田）で開かれました。自転車を使って散歩をするように地域と触れ合いながら走るのが散走。初日は講演などで散走の考え方を学び、グループに分かれて蒜山エリア内でのコース作りにチャレンジ。2日目には実際にそのコースを自転車で巡る体験会が行われました。フォーラムには約30人が参加し、普段とは違った目線から見える地域の魅力を楽しみました。

写真左：ちょっとした高台から見下ろす風景も自転車だからこそ出会えるもの　写真中：車だと狭い道でも自転車なら自分のペースでのんびりと散策できます　写真右：史跡などに足を止めて地域の風土に触れることができるのも散走の魅力の一つ（田部の義民の墓）

市長室から こんにちは！

新しい総合計画づくり

真庭市では、現在、27年度から始める新総合計画づくりに取り組んでいます。人口減少と高齢化社会、地方交付税の大幅減額の状況下で、真庭市が町村連合ではなく「市」として、永続的に活力を持ち続けるには?魅力ある地域になるには？未来の真庭を語る「ものがたり会議」を開き、公募で参加した60数名の方々（高校生や若い人も大勢参加）が熱くまちづくりを語っています。あなたも加わり、元気で希望の湧く真庭づくりを語りませんか！

6/12 交流事業に役立てます

へき地教育助成贈呈式が行われ、みずほ教育福祉財団から、八束小学校へ目録が渡されました。へき地の学校が宿泊を伴う交流学習を行う場合などに助成されるもので、夏と冬高知県須崎市の南小学校と交流を行います。

なければ必ず設置　あったら必ず確認
住宅用火災警報器

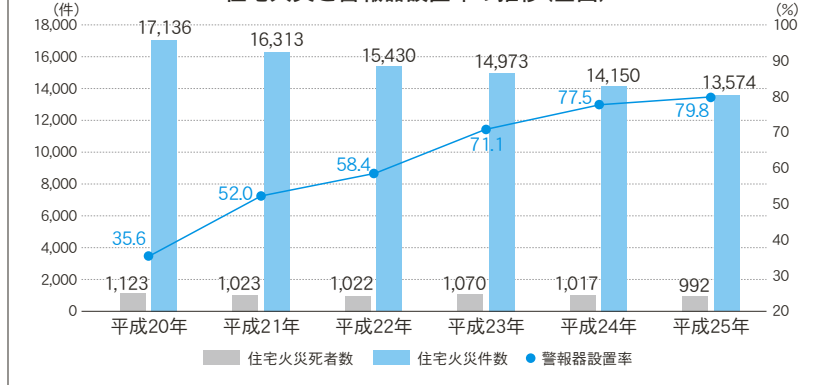
住宅用火災警報器はなぜ必要なのでしょうか。それはあなた自身はもちろん、大切な家族の命を住宅火災から守るためです。住宅用火災警報器を設置し、いざというときにちゃんと作動するよう、日ごろの管理をして住宅火災の予防に努めましょう。

問 消防本部予防課　御船　TEL 0867(42)1190

早期発見、逃げ遅れ予防に効果

平成25年に発生した全国の住宅火災は1万3574件で、死者は992人。その死者の約7割が「逃げ遅れ」が原因とされています。また、さらにその7割が65歳以上の高齢者であり、今後高齢化が進むにつれ、死者数の増加が心配されています。そのような中、住宅用火災警報器の設置率は上がってきており、平成25年で79・8パーセント。それに伴って住宅火災発生件数およびその死者数は減少しています。火災の早期発見や逃げ遅れの予防につながっていることが見て取れます。

管内全戸調査が完了

真庭市消防本部では、平成23年から平成25年にかけて設置状況調査を実施しました。また、それまで不在などで聞き取りができていなかった約1500件を、地元消防団の協力で追跡調査。この4月末までに管内全戸の調査が完了しました。調査の結果、管内の設置率は76・8パーセント。全国平均を3パーセントも下回る状況です。真庭市では、火災予防条例により、住宅用火災警報器の設置が義務化されています。大切な家族の命や財産を守るためにも、必ず設置しましょう。

住宅火災と警報器設置年の推移（全国）

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
住宅火災死者数（件）	1,123	1,023	1,022	1,070	1,017	992
住宅火災件数（件）	17,136	16,313	15,430	14,973	14,150	13,574
警報器設置率（%）	35.6	52.0	58.4	71.1	77.5	79.8

★付けててよかった！こんな事例★

ケース①
電気ストーブを点けたまま寝てしまい、近くにあった毛布に着火。警報器の音に気付き初期消火をして119番通報した。

ケース②
揚げ物をしていることを忘れて電話をしていると、警報器の音が。鍋から火が出ているのに気付き、119番通報した。

ケース③
ガスコンロに鍋をかけたまま外出。鍋から出た煙を台所の警報器が感知。警報音に気付いた隣人が119番通報した。

いざというときのために確認を！

汚れていませんか？
ほこりが付くと火災を感知しにくくなります。汚れが目立ったら、乾いた布で拭き取りましょう。

音は鳴りますか？
月に1度は作動テストをしましょう。ボタンを押せば（ひもがある場合は引く）テストできます。

電池はありますか？
電池切れは音声やピッピッといった一定間隔の音でお知らせしますので、新しい電池に交換してください。

※電池交換などをしても作動しないときは故障の可能性があります。取扱説明書をご覧いただくか、メーカーに問い合わせるなどしてください。
※住宅用火災警報器の電池寿命は5年、10年のものが主流ですが、電池交換ができないものもあります。その場合は警報器自体の取り換えが必要になります。

市民･行政･議会で　これからの真庭市を考えよう

真庭市議会 まちづくり講演会

これからの真庭市のまちづくりについて、地域の実情･課題に焦点を当て、市民･行政･議会がそれぞれの立場で考えていく機運を高めるためにまちづくり講演会を開催します。講師には、真庭市でのバイオマス利活用事業の取り組みを取り上げた「里山資本主義」の著者である藻谷浩介さんをお迎えします。入場無料です。ぜひお越しください。

問 議会事務局　TEL0867-42-1272

日時 7月16日㈬ 18:30～　場所 勝山文化センター

［講師］藻谷（もたに） 浩介（こうすけ） 氏

「里山資本主義」著者
真庭市でのバイオマス事業などを取り上げた１冊。新書大賞2014に輝いた。

プロフィール
㈱日本総合研究所 調査部 主席研究員。
日本開発銀行、米国コロンビア大学ビジネススクール留学、日本経済研究所などを経ながら、地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。山口県生まれ49歳。

演題 **里山真庭から日本を変える**

人材育成補助金　頑張る商工業者を応援します

従事者 後継者 育成補助金

市内の商工業者が技術力や経営力の強化を図るために、技術水準の向上や能力開発など人材育成を目的とした研修を受講させるときの経費に対して、補助金を交付します。

問 産業観光部商工観光課　村松　TEL0867-42-1033

- ■対象者　市内に事業所を有する商工業者で、従業員の研修会経費などを負担している事業者
- ■対象経費　研修にかかる受講料やテキスト代（旅費、宿泊費は除きます）
- ■補助率　補助対象経費の1／2（上限は2万円）

交付申請は、研修会などの開催期日前に行ってください。申請方法など詳しくは、お問い合わせください。

簡易給水施設補助金

真庭市では、市が管理する上水道、簡易水道などの水道施設が整備されていない地域での生活用水確保のため、簡易な給水装置を新設・修繕する事業に補助金を交付しています。設置をお考えの場合は、水道課にご相談ください。　問 建設部水道課　西本　TEL0867-42-1108

○対象者
真庭市内に住所を有する人

○事業の例
【水源確保】山水などの水源が枯渇したため、新たに井戸を掘る。
【水質改善】山水や井戸の水質が悪化したため、ろ過器を設置する。（蛇口付近に設置する簡易なものは対象外です）

○補助対象地区
市管理の上水道、簡易水道または飲料水供給施設の給水区域であるかによって、対象となる条件が異なります。
【給水区域外】水質が不良な地区、または生活用水の需給に困っている地区
【給水区域内】水道本管からの距離がおよそ100メートル以上離れており、水質が不良な地区、または生活用水の需給に困っている地区

○申請方法
水道課に事前協議の上、申請書類（事業計画書、設計書、住民票など）を提出してください。
※申請書類は、事前協議の際、補助対象となる場合に配布します。
※事前協議の際は、現地の位置図および、現況または予定地の写真をご持参ください。

※写真は設置のイメージです

ご注意ください!!

●予算に限りがあるため先着順です。（申請多数で受け付けできない場合もあります）
●工事を行っても水量を確保できなかった場合は、補助金を交付できません。

補助対象経費	対象戸数	対象経費の上限	補助率（補助限度額）	対象区分	事前協議の期限
○請負施工の場合（工事請負費など） ○直営施工の場合（材料費、労務費、調査費、検査費、消費税など）	1戸	150万円	1/2以内（75万円）	新設・修繕	随時受付
	2戸～4戸	300万円	2/3以内（200万円）		
	5戸以上	1,200万円	95％以内（1,140万円）	新設	実施の前年度8月末日まで

お知らせワイド INFORMATION & NEWS

美作国1300年の歴史　一緒に学びませんか

真庭市歴史講座 受講生募集

真庭市教育委員会では、真庭市歴史講座として真庭市ゆかりの事物をはじめ、さまざまなテーマで連続講座を毎年開催しています。8年目となる今年の講座は、美作国建国1300年を記念して発刊された『みんなで学ぶ、ふるさと美作のあゆみ』の主な著者を招き、執筆の裏話を交えつつ、美作国1300年の歴史を分かりやすく学びます。

昨年度の講座の様子

◆**会場**　勝山文化センター
◆**受講料**　年間500円
◆**定員**　先着60人
◆**申込方法**　はがきに「真庭市歴史講座応募」と明記し、住所・氏名・性別・年齢・電話番号を記入の上、申し込んでください。
◆**問い合わせ・申込先**
〒719-3292
真庭市久世2927-2
教育委員会生涯学習課
TEL 0867(42)1094

開催日	講座内容(仮題)	講師
8月6日(水)	原史・古代の美作	行田裕美(津山市河辺公民館館長)
9月18日(木)	古代の美作国	仁木康治(津山市教育委員会主査)
10月16日(木)	中世前期の美作社会	前原茂雄(歴史研究者)
11月20日(木)	中世後期の美作国	森　俊弘(真庭市教育委員主幹)
12月11日(木)	近世の美作国	小島　徹(津山市立津山郷土博物館次長)
1月15日(木)	近現代の美作	日下隆春(鏡野町教育委員会主任)

※原則として、受付　午後1時～　講座　午後1時30分～3時
※都合により、講師・日程・会場が変更することがあります。

お知らせワイド INFORMATION & NEWS

申し込みは8月29日(金)まで

宝くじ助成 コミュニティ活動にご活用ください

財団法人自治総合センターでは、地域住民が行うコミュニティ活動を推進することを目的に、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティへの助成を行っています。平成27年度分の助成を希望する団体は期限内にお申し込みください。

■**対象団体**
自治会などの地域的な共同活動を行っている団体、またはその連合体

■**提出先**
総合政策課または蒜山振興局・各支局総務振興課

事業の区分	助成金額	対象となる事業内容
一般コミュニティ助成事業	100～250万円	住民が自主的に行うコミュニティ活動に必要な設備の整備
コミュニティセンター助成事業	対象事業費の3/5以内 ※上限1500万円	住民のコミュニティ活動を推進するための集会所の建設整備
地域防災組織育成助成事業	30～200万円	自主防災組織などが行う地域の防災活動に必要な資器材・設備などの整備
青少年健全育成助成事業	30～100万円	青少年の健全育成に資するため、主として親子で参加する事業

内容が変更になる可能性もあります。あらかじめ了承ください。

問い合わせ先　総合政策課　中島　TEL0867-42-1169

お知らせワイド INFORMATION & NEWS

一人で悩まずまず相談

高齢者・障がい者なんでも相談会in真庭

弁護士、司法書士、税理士、社会保険労務士、その他医療福祉関係専門職による無料相談を開催します!!

◆日時　7月19日(土) 午前10時～午後3時
◆場所　久世保健福祉会館

【内容】高齢の人や障がいのある人が、安心して地域で生活できるように、法律や福祉などについての質問や相談、虐待や権利侵害に関する相談などを受け付けます。相談は無料で、事前予約の必要もありません。相談時間の制限がありませんので、納得いくまでゆっくり相談することができます。

当日は電話でも相談を受け付けています。
TEL 070-5042-9253 へおかけください。

同日▶「成年後見入門講座」開催

【時間】午後1時～2時　【場所】久世保健福祉会館
「どんな時に制度を利用するの？」といった疑問などについて、分かりやすく説明します。

問い合わせ先
真庭市社会福祉協議会　TEL0867-52-1500
真庭市地域包括支援センター　TEL0867-42-1079

お知らせ
INFORMATION

真庭市の人口

総　数　48,822人(-53)
男　23,311人(-19)
女　25,511人(-34)
世帯数　17,871世帯(-8)

平成26年6月1日現在
( )は前月との比較

代表電話番号

▶本庁舎
TEL 0867-42-1111
FAX 0867-42-1341

▶蒜山振興局
TEL 0867-66-2511
FAX 0867-66-4401

▶北房支局
TEL 0866-52-2111
FAX 0866-52-4496

▶落合支局
TEL 0867-52-1111
FAX 0867-52-1939

▶勝山支局
TEL 0867-44-2607
FAX 0867-44-4569

▶美甘支局
TEL 0867-56-2611
FAX 0867-56-2033

▶湯原支局
TEL 0867-62-2011
FAX 0867-62-2097

▶中和出張所
TEL 0867-67-2111
FAX 0867-67-2205

▶川上出張所
TEL 0867-66-3611
FAX 0867-66-4402

▶真庭市消防本部
TEL 0867-42-1190
FAX 0867-42-1672

集合！来て、見て、知って
農業現地見学会

生産現地見学会を開催します。野菜などの栽培に興味のある人、これから栽培を始めてみようと思う人、ぜひ気軽にご参加ください。

■開催日時・場所
【トマト・リンドウコース】
○日時　7月16日(水)
午後1時～4時
○集合場所　JAまにわ蒜山営農経済センター
【ブドウ・ナス・キュウリコース】
○日時　7月17日(木)
午後1時～4時
○集合場所　JAまにわ落合営農経済センター
※集合場所から現地まではマイクロバスで移動します。
■定員　各コース20人程度
（真庭市・新庄村に在住の人）
■参加費　100円程度
■申込期限　7月10日(木)
■問い合わせ・申込先
○JAまにわ蒜山営農経済センター
TEL 0867(66)2540
○JAまにわ落合営農経済センター
TEL 0867(52)1122
○JAびほく北房総合センター
TEL 0866(52)2839
○真庭農業普及指導センター
TEL 0867(44)7583

受講生募集
消費生活サポーター講座

消費者被害に遭いやすい人の見守りなど、安全で安心な消費生活を支える活動を行う「消費生活サポーター」養成講座を開催します。ご自身や家族、地域を消費者被害から守るために、講座で学んでみませんか。

■日時　7月30日(水)
午後1時30分～3時
■場所　久世公民館大ホール
■講師　岡山県消費生活センター相談員
■受講料　無料
■定員　50人
■申込期限　7月16日(水)
■申し込み・問い合わせ先
くらし安全課　釜本
TEL 0867(42)1017

予約をお忘れなく
年金相談

7月の年金相談日をお知らせします。相談内容を把握するため、前日までに予約をお願いします。代理人の場合は委任状が必要です。

■日時　7月10日(木)、24日(木)
午前10時～午後3時
■場所　市役所本庁舎
■予約先
津山年金事務所お客様相談室
TEL 0868(31)2365
■問い合わせ先　市民課　中山
TEL 0867(42)1112

申請はお早めに

6月下旬に臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の申請書類を対象者に送付しています。現在申請を受け付けていますので、早めに手続きをお願いします。

申請書類受け取り（6月下旬）▶書類に記入▶書類提出（郵送可）（10月1日まで）―支給決定―給付金を受給（指定口座に振込）

給付金の内容など詳しくは各担当課にお問い合わせください

臨時福祉給付金▶福祉課　藤本・難波　TEL 0867-42-1581
子育て世帯臨時特例給付金▶子育て支援課　樋口・二若　TEL 0867-42-1054

若い力を求めています
陸・海・空自衛官募集

防衛省では、自衛官を募集します。男子の入隊時期は異なりますが、女子の入隊時期は平成27年3月下旬～4月上旬予定です。

■募集種目　自衛官候補生
■受験資格　日本国籍を有し、平成27年4月1日現在で18歳～27歳未満
■受付期間　8月1日(金)～9月9日(火)　※締切日必着
■試験日
・男子　受付時にお知らせ
・女子　9月25日(木)～29日(月)
（原則9月16日以降）
■募集説明会
○久世公民館
7月6日(日)　午後1時～
○勝山文化センター
7月26日(土)　午後1時～
■問い合わせ先　自衛隊岡山地方協力本部津山出張所
TEL0868(22)5637

名称募集
湯原ふれあい交流センター

市営日帰り入浴施設「真庭市湯原ふれあい交流センター」により親しんでいただくために名称を募集します。

■応募方法　湯原ふれあい交流センター、足温泉館、ひまわり館に備え付けの募集用紙に記入し、募集箱に投函してください。
■募集期限　8月20日(水)まで
■問い合わせ先
湯原支局総務振興課　高島
TEL0867(62)2011

更生保護活動に理解を
社会を明るくする運動月間

7月は「社会を明るくする運動強化月間」です。犯罪を社会から無くし、住みよい環境を作るための活動や啓発を強化月間に合わせ行います。

◇真庭地区推進大会
■日時　7月15日(火)
午前10時～11時30分
■場所　久世公民館
■講演　『共に生きる』―真庭のそらはあかね色―
講師　山下信子（更生保護女性会理事）
◇作文募集
■対象者　真庭地区内　小中学校児童、生徒
■題材　社会を明るくする運動にふさわしいもの
■応募期限　9月5日(金)
■問い合わせ先　福祉課　江川
TEL0867(42)1581

気軽に参加ください
就職支援セミナー

おかやま若者就職支援センターでは、就職を目指す若者のために、就職支援セミナーを開催しています。

■日時
7月22日(火)、8月19日(火)
午前10時～午後3時30分
■受講内容
①企業が求める人物像と効果的な自己PR方法
②模擬面接とマナー講座など
■場所　津山市立図書館
■申し込み・問い合わせ先
おかやま若者支援センター
TEL086(236)1616

蒜山高原で 昆虫採集をしよう!

昆虫博士から説明を聞きながら、チョウ類やバッタを採集します。

■期日　8月2日(土)
■場所　蒜山ベアバレースキー場
■集合時間　午前9時現地
■服装　帽子着用、水筒は各自で持参ください。

蒜山のトウモロコシも食べれるよ!

■申込期限　7月18日(金)
電話でお申し込みください

申し込み・問い合わせ先
環境課　金田　TEL0867-42-1113

2014 ふるさと勝山もみじまつり YOSAKOIソーラン 参加チーム募集

『ふるさと勝山もみじまつり』のメインイベント「YOSAKOIソーラン踊り」の参加チームを募集します。

■日時　11月9日(日) 9:30～15:00
■メイン会場
勝山文化センター駐車場
■参加資格　１チーム10人以上
■参加ルール
・コスチュームやメイクは自由
・鳴子を持って踊ること
・音楽は「TAKIO'S SOHRAN 2」
■申込方法　勝山支局・勝山文化センターにある申込用紙に必要事項を記入し、８月29日(金)までに申し込み

申し込み・問い合わせ先
ふるさと勝山もみじまつり実行委員会事務局（勝山支局総務振興課内）
TEL0867-44-2607

東日本大震災復興祈願イベント・RUN FOR TOMORROW 第三弾
「夏だ! LIVEだ! ビアガーデンだぁ～!」

2014.7.19 SAT.
open:18:00～ start:18:15～
@久世エスパスホワイエ
入場料：無料
各種飲食物の出店あり

出演バンド
Future Band AUN-1（フォークソング）
DO-MO（POPS）
Acoustic Band 勇次（長渕剛カバー）
Hull（沖縄ソング）
Guest
SK DANCE CREW（スポレ）

問　Acoustic Band 勇次　井上　TEL090-7978-7244

真庭吹奏楽団 レヴール 第19回 定期演奏会

日時：7月20日(日)　開場14:00～、開演14:30～
場所：勝山文化センター　ポンテホール
入場料：500円（小学生以下無料）
ゲスト出演：勝山中学校吹奏楽部

問　富松文治　TEL0867-52-1322

お知らせ
INFORMATION

休日急患担当医

6日
- 勝山病院・勝山　0867-44-3161
- 本山医院（内）・落合　0867-52-1551

13日
- 金田病院・落合　0867-52-1191
- 岸本医院　0867-42-0495

20日
- 近藤病院・勝山　0867-44-2671
- さくもとクリニック（外）・北房　0866-52-4833

21日
- 金田病院・落合　0867-52-1191
- 新庄村診療所　0867-56-3255

27日
- 湯原温泉病院・湯原　0867-62-2221
- 高田医院・落合　0867-52-2233

―8月―

3日
- 落合病院（内）・落合　0867-52-1133
- 金田病院・落合　0867-52-1191
- 中井医院・勝山　0867-44-4848

7月の記念日・節気

7日　小暑
21日　海の日
23日　大暑

募集しています 真庭市営住宅整備検討委員

「真庭市営住宅整備計画」の見直しをするに当たり検討委員会を募集します。希望する人は期限までにお申し込みください。

■募集人員　4人
■募集期限　7月14日(月)
■申し込み・問い合わせ先
都市住宅課　畦崎
TEL 0868(42)7781

参加者募集 第10回トンボの森づくり

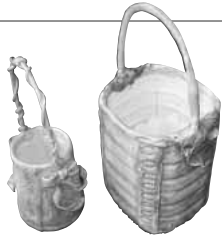
さまざまな生き物が生息できる森林環境を目指して、トンボの森づくりを行います。今回は「トンボ観察会＆スケッチ大会」と「キノコ観察会」を合わせて開催します。

■日時　7月19日(土)午前10時～午後3時30分
■場所　津黒いきものふれあいの里
■参加費　無料（昼食を希望する人は昼食代500円）
※中学生以下無料
■用意するもの　かま、のこぎり、剪定ばさみ、軍手（おうちにある範囲のもの）
■服装　作業しやすい服装
■申込期限　7月11日(金)
■申し込み・問い合わせ先
真庭・トンボの森づくり推進協議会（事務局環境課）
TEL 0867(42)1113

ご相談ください 難病のある人の出張相談

難病のある人の出張相談を実施します。相談内容は原則として就労相談で、就職支援専門員が対応します。

■日時　偶数月の第4水曜日午後1時～4時
■場所　真庭保健所
■内容　原則として就労相談
※事前に予約が必要です
■問い合わせ先
岡山県難病相談・支援センター
TEL 086(246)6284

リサイクルプラザ手芸教室

ペットボトルと紙粘土でオリジナル小物入れを作りましょう。

■日時
7月10日(木) 13:00～
■場所
リサイクルプラザまにわ
■参加費　500円
■定員　20人
■申込期限　7月7日(月)

※牛乳パック3個、ボンド、ハサミをご持参ください。（無い場合は、ご用意いたします。）

申し込み・問い合わせ先
リサイクルプラザまにわ
TEL0867-42-1161

取得しませんか 狩猟免許

わなや銃などを使い、有害鳥獣の捕獲を行うには、狩猟免許が必要です。取得を希望する人は講習会を受講し、免許試験を受けましょう。新規の免許取得に限り受講料、受験手数料の補助もありますので、詳しくはお問い合わせください。

◇狩猟初心者講習会
■日時　7月21日(月)午前9時～
■場所　グリーンヒルズ津山リージョンセンター
■申込期限　7月16日(水)
■受講料　4千円

◇狩猟免許試験
■日時　7月27日(日)午前9時30分～
■場所　グリーンヒルズ津山リージョンセンター
■受験資格　20歳以上で、受験禁止項目に該当しない人
■申込期限　7月16日(水)
■受験手数料　5200円
※現に有効な狩猟免許を所持する人が、これと異なる種類の狩猟免許を受験しようとする場合は、3900円相当の岡山県収入証紙を狩猟免許申請書の収入証紙欄に貼り付けてください。

◇共通事項
■申込先　美作県民局真庭地域事務所真庭地域森林課または猟友会各分会長
■申込方法　農林振興課、振興局・支局総務振興課、各猟友会にある所定の申込書に必要事項を記入し、受講料を添えて申し込みください。
■問い合わせ先
農林振興課　中島
TEL 0867(42)1031

食育〇×クイズ 解答
正解を発表します

広報真庭6月号19ページの「まにわ食育クイズ」の答えは次のとおりです。（カッコ内は×のときの正答です）

Q1・〇
Q2・×（米）
Q3・〇
Q4・×（うなぎ）
Q5・×（60キログラム）
Q6・〇
Q7・〇
Q8・×（10本）
Q9・〇
Q10・〇

全問正解者には、抽選で記念品をお送りします。
■問い合わせ先 健康推進課 兵江 TEL0867(42)1050

みんなでつくる音楽祭
真庭音楽祭出演者募集

真庭音楽祭実行委員会では、地域の人々の幅広い交流、連携の場、地域の音楽文化の発展のために、真庭音楽祭の出演者を募集します。

■開催日時 11月16日(日) 正午～午後4時
■会場 勝山文化センター
■参加資格 音楽を演奏する個人およびグループ（演奏時間は10分程度）
■申込期限 8月8日(金)
■申し込み・問い合わせ先 真庭音楽祭実行委員会（真庭青年会議所内） TEL0867(42)4453

夏の風物詩
第70回落合納涼花火大会

夏の風物詩、落合納涼花火大会を開催します。打上・仕掛けによる約2500発を予定しています。当日の駐車場は、1キロ前後会場から離れる場合がありますのであらかじめご了承ください。午後7時～9時30分まで会場周辺は交通規制が行われますのでご注意ください。

■日時 7月26日(土) 午後7時50分～9時
※延期の場合は8月2日(土)
■場所 落合支局周辺
■問い合わせ先 真庭商工会落合支所 TEL0867(52)3360 落合支局総務振興課 山本 TEL0867(52)1111

魅力あるまちづくりを応援
ふるさと納税

村越顕一さん（宮城県黒川郡富谷町）、佐藤栄剛さん（福岡県福岡市）、長谷川豊さん（静岡県浜松市）より、ふるさと納税として寄付をいただきました。

総合政策課

申し訳ありません
お詫びと訂正

広報真庭6月号17ページの研鑽に栄誉のコーナーで紹介した第14回全国（60歳以上）シニアサッカー大会予選会の場所と出場者が間違っていました。正しくは「鳥取県」、「矢木秀雄」さんでした。訂正してお詫びします。

秘書広報課

入札結果

財産活用課 TEL0867-42-1174

●予定価格250万円以上の公共工事落札額を公表します。
●表記順
《入札日→工事名（発注課）→落札者→落札額（税抜き額）》

●平成26年5月2日
・市道粟村線舗装新設工事（建設課）
㈱富松組…4,850,000円

●平成26年5月20日
・市道清水寺線道路災害復旧工事（建設課）
㈱三木工務店…88,000,000円
・市道七石線道路改良工事
（蒜山振興局総務振興課）
㈱柴田工務店 …7,000,000円
・市道小原集会所線道路改良工事
（落合支局総務振興課）
㈱金平工務店 …5,495,000円
・焼却施設 バグフィルタ等補修工事
（クリーンセンターまにわ）
㈱スガテック… 7,800,000円

今月の掲載は、5/2、20日の入札実施分。

真庭市営分譲団地 しらうめ団地
追加販売 特別な区画をあなたに!

市では上市瀬で販売している「しらうめ団地」の追加販売を行います。購入を希望する人は、今すぐ都市住宅課までお申し込みください。

◆分譲概要
所在地 真庭市上市瀬1050番7
区画数 1区画
区画面積 787.28㎡
分譲価格 2,000,000円

しらうめ団地
旭川
落合総合公園
中国道
落合IC
落合庁舎

申込期間 7月1日(火)～7月31日(木)

■購入者の決定 申込期間内に申込者が1人だった場合はその人に、複数人だった場合は抽選とさせていただきます。

問 都市住宅課 畦崎 TEL0867-42-7781

読者の広場は皆さんから寄せられたハガキなどでつくるページです。

今月は、寄せられたお便り45通の中からチョイス

▲ 金佐武志

▲ PN もも

▲ PN あおい

今月のテーマ「七夕」

「子どもの頃の思い出」

土屋勝幹さん（上市瀬）

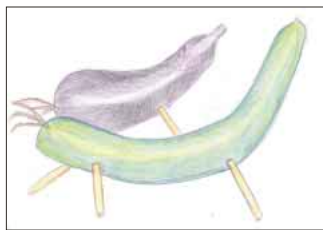
現在の川岸はだいたい護岸やコンクリートになったように思います。竹藪も少なくなりましたが、私たちが子どもの頃には、川の畔の両側には竹はたくさんあって、毎年の七夕様になると、友人同士で取りに行き、なんとか持って帰っていたように思います。持って帰った竹は、父が杭を打って取り付けてくれていました。縁側には机を置いて、その上にナスやキュウリなどを使って、マッチの軸で足をつけて牛や馬など作っていましたが、長かったり短かったり長さがなかなか合わず、難しかった思い出があります。竹にはたくさんの短冊を取り付けて、今も忘れませんが、今の裕福な時代とは違い、食べ物がなかった時代でしたので、食べ物ばかりいろいろ欲しい物をいっぱい書きました。今は亡き父が、短冊を見てもっと他に書く事はないのかと笑いながら言っていた言葉を今もよく覚えていて懐かしい思い出として心に残っています。

▲ PN 黄昏さん

「七夕」

稲岡雅子さん（上）

七夕について少しお話をさせていただきたいと思います。私たちの子育ての頃は、保育園もなく時折おりの行事は家でしてやったものです。七夕には近くにある竹を祖父が切ってきてくれて、祖父母とみんなで色紙を短冊に切り、三人の子どもが思い思いの自分なりの言葉を書きました。長男は勉強がよくできるようにと書き、次男は野球選手になりたいと書き、小中高と軟式野球のキャッチャーとして頑張り全国大会に出場しました。思いが達成でき満足していた顔が目の前に浮かびます。三男はいいお嫁さんをもらいたいと書き、今ではそ

▲ PN となりのトロロさん

お便りお待ちしています!

メールの場合は
hisho@city. maniwa. lg. jp

9月号 読者の広場

テーマは「運動会」です。

楽しかった運動会、悔しい思い出など運動会について、200字程度でお寄せください。

川柳の兼題は「風」です。

お便りは同封したはがきをご利用ください。川柳の締め切りは7月31日㈭です。

8月号では、「海」についてお便りを募集しています。
（7月10日締め切り）

▲ PNトーマ

▲ もりたひろと

▲ 上原享太

の通りの最良のお嫁さんをもらい幸せに暮らしております。私は3人の子どもが健康で、人様に迷惑を掛けないように育ちますようにと書きました。七夕には必ずダンゴをお供えして、無事を祈り家内安全を祈り、八日には川下に流して、一家だんらんのひとときでした。当時の思い出は、今は走馬灯のように脳裏を駆け巡ります。子どもも成長した今、私も八十歳の坂を上りつつ野菜を作り、人様と仲良く頑張っている今日この頃です。

ここからは、皆さんから寄せられた「テーマ」以外のお便りをご紹介します。

「上田の山のてっぺんで」

PN 瑠璃の丘さん（田原山上）

校舎を守ることにつながれば。そんな思いが詰まった「上田小学校校舎を守ろう活動」が始まっています。この春の5月18日に有志で集まった皆さんと玄関横の花壇にハーブを植えました。作業には岡山県南から来た方もおられ、みんなで一緒に20種類以上のハーブを植えました。せっかくのハーブですから、上田むらおこしの会の行事などに合わせて、ハーブを楽しむ催しも開いています。今回は、上田あじさい祭りの期間中、ハーブティーを飲みながらくつろいでいただけるカフェを開きました。自然なものにこだわっていて、メニューにはロースイーツといって、砂糖も火も加えないで作るお菓子も出してみました。カフェには近隣の作家さんの作品も展示し、自然なムードを演出してみたりして。この活動はまだ始まったばかりですが、自然を大切にする上田の活動を発信し、大勢の皆さんにこの山のてっぺんを訪れていただきたいと思っています。

花壇に植えられたハーブ

段堂 大地（だんどう だいち）くん
H25. 7. 10 生まれ（大庭）
㊬ 美知子さん（母）

牧 亮助（まき りょうすけ）くん
H25. 7. 1 生まれ（多田）
㊬ 久司さん（父）

小林 琴音（こばやし ことね）ちゃん
H25. 7. 19 生まれ（栗原）
㊬ 政人・聖子さん（両親）

佐野 敬梧（さの けいご）くん
H25. 7. 2 生まれ（久世）
㊬ 恵理さん（母）

村上 蓮隼（むらかみ れんしゅん）くん
H25. 7. 21 生まれ（蒜山下長田）
㊬ 清次・千夏さん（両親）

小谷 陽歌（こだに はるか）ちゃん
H25. 7. 9 生まれ（蒜山下長田）
㊬ 雄治さん（父）

山﨑 晴友（やまさき はると）くん
H25. 7. 9 生まれ（神代）
㊬ 真由美さん（母）

★対象★
発行月に1歳の誕生日を迎えられる市内在住のお子さん。
★応募期限★
誕生月の前の月の10日まで
★掲載内容★
①お子さんの写真②氏名（ふりがな）③性別④生年月日⑤住所⑥応募者のお名前と続柄
★応募および問い合わせ先★
総合政策部秘書広報課
〒719-3292真庭市久世2927-2
TEL0867-42-1163（FAX1353）
E-mail:hisho@city.maniwa.lg.jp

▲ もりたみきえ

▲ 上原奈々

▲ PNチャチャチャサンタ

初めてのスポーツに挑戦
伏見全史さん（久世）

初めてニュースポーツフェスティバルに参加しました。普段から、スポーツが好きで、スポーツレクリエーション倶楽部くせの活動にも参加しています。今日は天気もよく、楽しく参加させてもらっています。特に、スナッグゴルフは面白かったです。今日は、大人の参加が少ないので、次回は友だちを誘って参加したいと思います。

真庭は必ず良くなると信じて
市 和真さん（野川）

ものがたり会議の委員長になってしまいました。といっても立候補したのですが。真庭を良くしたいと思っている人の集まりなので、委員長というのはさすがにプレッシャーを感じます。25年後の未来を想像すると、きっと真庭は県外からお客さんがいっぱい来てくれるまちになっていると信じています。会議には大勢高校生も参加していますが、将来に貢献できるようにみんなで頑張ります。皆さんご協力お願いします。

の～てんきに頑張ります
渋谷杏奈さん（種）
森谷麻衣さん（福田）

真庭市長杯ソフトバレーボール大会に、湯原から「の～てんき」というチームの一員として参加しました。この大会には、毎年楽しく参加させてもらっています。ソフトバレーボールの魅力は、子どもから大人まで、誰でもできるというところです。今日も、チーム名のとおり、の～てんきに、楽しくプレーさせてもらっています。来年も、ぜひ参加して皆で楽しくプレーしたいです。これからも、この大会は続けていってほしいと思います。

図書館へ行こう! 本の紹介

北房文化センター図書室

〒716-1411 真庭市上水田3131
TEL0866-52-5220 FAX0866-52-5221
開館時間 平日10:00～19:00
土日 9 :00～18:00
休館日 毎週月曜日 年末年始

今月のおすすめの本

「くんくんくん おいしそう」
阿部知暁／著 福音館書店

アフリカの森に果物のなっている、大きな木がありました。ゴリラやチンパンジーがやってきて、果物をむしゃむしゃ食べます。果物を食べた動物たちのうんちから、やがて芽が出て…。

「よいこととわるいことって、なに？（こども哲学）」
オスカー・ブルニフィエ／文 朝日出版社

「よい」ことと「わるい」ことを楽しく考える絵本。6つの大きな問題へのいろんな考えを紹介。それをあれこれ組み合わせたりして、きみだけの答えをさがしてみよう！子どもと本気で語り合いたい大人にもおすすめ。

「中国・四国子連れにおすすめのキャンプ場はここだ!」
秀巧堂おでかけプロジェクト／著 メイツ出版

中国・四国地方にある、子どもと行きたいキャンプ場を紹介。連絡先、利用期間や入退場時間、おすすめポイント、料金と遊びの種類、設備の有無、アクセス&マップ等を掲載する。
データ：2014年 2 月現在。

「欲と収納」
群ようこ／著 KADOKAWA

物は買いたい。でも収納できない…。捨てようと思えば未練が募ったり、未使用のものが出てきたり、とかくままならない収納。ため息の向こうに、理想の暮らしは果たしてあるのか？ 群ようこの抱腹絶倒エッセイ。

真庭市栄養改善協議会の提供です

とまとジャム

夏が旬のトマト。完熟トマトでつくればより一層おいしくできます。

材料（4人分）

・トマト　600ｇ
・砂糖　200ｇ
・レモン汁　30cc
※材料は作りやすい分量の目安です。

作り方

①トマトを熱湯に通して皮を湯むきし、ざく切りにする。
②鍋に材料を入れて混ぜたら火にかけ、煮立ったら弱火にする。
③時々あくを取り除き、かき混ぜながら煮詰めて出来上がり。

＜とまとジャム（全量）の栄養価＞
エネルギー890kcal　たんぱく質 4.0g
脂質 1.0g　カルシウム 50mg

今月のレシピ提供は
瀧本定子さん
（湯原支部）

お話：トマトに多く含まれているリコピンには抗酸化作用があり、生活習慣病や加齢症状の予防などが期待できます。

▲ PN ハナ王子

▲ 山田勇馬

今月の1枚

せせらぎと水車、そしてホタル

風物詩とはまさにこのこと。北房のホタルは今年も見事な乱舞を見せてくれました。この風景を見逃すまいと訪れた大勢の観光客が、時が経つのも忘れてホタルに見とれていました。

川柳「胃」

選：勝山川柳会　原　健裕さん
９月号の兼題は「風」

胃の不満なだめながらのダイエット　菊池千江子　本郷
胃は元気百歳までも夢でない　菊池俊男　本郷
胃薬を飲んでつきあう縄のれん　永田寿道　樫東
仮面脱ぐ居酒屋ビールが胃にしみる　ゑみこ　目木
胃の調子今日も最良笑みこぼれ　瀧上秀子　落合垂水
足腰は衰えたけれど胃は元気　中山春子　本庄
胃カメラが私の秘密を探り出す　若田万寿子　落合垂水
胃カメラが飲めた野となれ山となれ　青山萌黄　上
胃が痛む相談はダメと釘を刺す　上島敬一　蒜山上長田
胃で医者に酒と命を比べられ　行本愼五　久世
消費税八十路暮らしも胃が重い　土屋勝幹　上市瀬
好物の入いる胃袋別に有り　楢本公枝　上市瀬
腹八分ストレスためずに胃を守ろ　植田万里子　月田
酒も呑みカメラものんで胃の腑無事　松尾千恵子　月田
胃カメラに私の弱味握られる　田中久榮　久世
胃薬と酒と女房手離せぬ　美甘栄枝　蒜山上長田
胃カメラに心の痛み見抜かれる　横山とも子　久世
〈軸吟〉薬より貴女の一言胃にしみる　健裕

健康のススメ

中学生ピロリ検診：尿中抗体測定と除菌

お話：近藤病院 院長 **近藤秀則** さん　問 TEL0867-44-2671

受けるんだったら今でしょ！

ピロリ菌と胃がん

ピロリ菌（以下ピロリ）が胃がんの「確実な発がん因子」と認定され、現在胃がんの約98㌫はピロリ感染が原因とされています。そのため、胃がん予防として除菌治療が大変注目され、平成25年2月ピロリ感染胃炎に対する除菌が保険適用となりました。

若年者の除菌

ピロリ感染は、4～5歳までに起こり以後感染を繰り返し、その後成人での感染は少ないとされています。近年、感染率は世界的にみても減少傾向にあり、日本の中学生・高校生の感染率は、5㌫前後といわれています。

胃がんの一次予防として、中学2～3年生という早い時期に除菌を行っておけば、40～50歳になって除菌するより除菌効果（胃がん発生予防効果）が大きいと期待されます。

その他、早期除菌のメリットとして、将来にわたり、胃の健康を維持することができ、慢性活動性胃炎～萎縮性胃炎、胃・十二指腸潰瘍になる可能性を少なくすることが期待されます。さらに、主たる感染源の根絶、すなわち将来、結婚し母親・父親になった場合、自分の子どもにピロリを感染させる心配が無くなる、などが挙げられます。

市内中学生ピロリ検診

真庭市医師会では、真庭市と川崎医科大学と密接に連携し、平成25年8月～9月の2カ月間ピロリ検診を実施しました。自治体が実施主体となる、全国で初めてのこの取り組みは、大変注目され新聞やテレビでも大きく取り上げられました。感染の診断や除菌に掛かる費用については、可能な限り負担の掛からない料金設定としています。また、万が一、除菌の副作用（まれに薬疹、軟便など）が発生した場合には、担当病院で対応する体制としています。

平成25年度実施結果

市内中学2～3年生を対象としたピロリ検診（一次検診・尿中ピロリ抗体検査）を行いました。陽性者に二次検診（確認試験）として尿素呼気試験を行い、両者とも陽性をピロリ感染者と判定し、希望者に対して除菌治療を行いました。受診者は317人（受診率約35㌫）、感染者は14人（感染率約4㌫）でした。感染者全員が除菌を行い、成功率は100㌫で副作用は軽微でした。実際に検査を受けた生徒の保護者から「ピロリ感染を調べてもらって大変良かった」「子供が感染していることが分かり、また除菌してもらい安心した」「自分もピロリを調べてみるきっかけになって良かった」など、多くの声をいただきました。

保護者の皆さまへ

今後、未来ある子どもたちからピロリ感染を無くし、将来にわたり胃がんの発生を限りなくゼロにすることができるピロリ検診にどうかご理解いただき、一人でも多くの生徒が、簡単にできる尿検査でピロリ感染を調べ、もし陽性の場合には除菌治療を受けることをお勧めします。

お知らせ　中学生のピロリ抗体検査

中学生の尿中ピロリ抗体検査が始まっています。

■受診期間　9月30日(火)まで

■対象　中学2～3年生で、平成25年度に検査を受けていない人

■受診費用　無料（抗体検査のみ）
詳しくは平成26年度保健だよりをご覧ください。

この検査は、尿検査によりピロリ感染の有無を判定し、感染がわかった人で希望する人には除菌治療を行うものです。この機会に、ぜひ検診を受けましょう。

問い合わせ先
健康推進課　寺沖　TEL0867-52-1050

MANIWA NO SUN

まにわの地産地消 47

甘くて長～い 北房育ちの新野菜

誘引ひもに沿って成長し、20㎝くらいまで大きくなります

ホクピー

お話 北部野菜生産組合 ホクピー部会代表
平田 忠さん(下呰部)

見た目は大きな青トウガラシといった感じですが、その正体は甘くて長いピーマン。北房で何か新しい特産品を作れないかと、栽培を始めたのが7年前でした。ホクピーというかわいらしい名前は、北房のピーマンだからという簡単な理由で付けました。3戸の農家から始まり、今では15戸が約30㌃で栽培しています。栽培は比較的簡単ですが、トウガラシがルーツというだけあって、水分と肥料が不足すると辛味成分のカプサイシンが出ることもあり、その点には十分注意して栽培しています。

このホクピーの特徴はやっぱり甘さと柔らかさで、ピーマンが苦手な人にもお勧め。生はもちろん素焼きや天ぷらにして食べてもおいしいです。旬の季節はこれからで、7月から霜が降りる10月くらいまで市南部の直売所や農協などに出荷します。また、大阪府高槻市の真庭市場にも並び、高槻市内のホテルや飲食店とも取り引きがあります。とはいっても認知度はまだまだ。皆さんに知っていただくために、北房の直売所や真庭市場での試食販売も計画しているところです。これから少しずつでも仲間を増やし、自慢の特産品に育てていきたいです。

互いの成長に良い影響を与え合うものを組み合わせて育てる「コンパニオンプランツ」という栽培方法を取り入れています。ホクピーはネギやニラと一緒に栽培。もちろんネギなども出荷できるので、まさに一石二鳥です。

遊びと学びがいっぱいあるよ

森のようちえん「あかとんぼ」開園式

木陰での読み聞かせもひと味違って楽しい！

森のようちえん「あかとんぼ」の開園式が5月25日、津黒いきものふれあいの里で行われました。真庭・トンボの森づくり推進協議会が主催する事業の一つで、自然の中で自由に遊び学ばせるのが特徴です。「危ない」「だめ」といった普段言ってしまいがちな言葉は控え、見守りをするのがここでの親の役目。子どもたちは草むらや小川などにどんどん入って行き、自然の中にある遊びを発見してのびのびと過ごしました。

服がぬれるのも忘れて小川で夢中に遊ぶ子どもたち

ただの草でも子どもたちには立派な遊びの道具です

気軽にニュースポーツ

ニュースポーツフェスティバル

第6回真庭市ニュースポーツフェスティバル（真庭市スポーツ推進委員会主催）が5月31日に、真庭やまびこスタジアムで開催されました。ディスゲッターやノルディックウォーキング、まにわ合戦などさまざまな種目が行われました。このフェスティバルは、ニュースポーツの普及とスポーツ少年団の交流事業の一環として行われており、この日も大勢の子どもたちが参加し、チームメイトや対戦相手と交流を深めました。

まにわ合戦を楽しくプレーする子供たち

竣工式でテープカットする関係者

真庭に新たな光

旭川荘真庭療育センター竣工式

旭川荘真庭療育センター竣工式が5月30日に行われ、福祉関係者など約110人が出席しました。テープカットの後、センター内で式典が行われました。同センターは社会福祉法人旭川荘が運営。真庭市内初となる重症心身障がい児・者の支援事業、発達障がいのある幼児・児童の支援事業、利用者向けグループホームなどの事業を行っていきます。障がいのある人の在宅生活をサポートする施設が新たに誕生しました。

6/7 人馬一体となり技術を競う

第21回岡山ホースショーが、蒜山ホースパークで行われました。大会では、定めた経路や歩様の動作を競う馬場馬術や設置された障害を飛び越して通過する障害飛越競技が行われ、乗馬技術を競いました。

6/8 今年も熱戦!!

第９回真庭市長杯ソフトバレーボール大会が、白梅総合体育館で開催されました。年齢別や男女別、ファミリーの部門に59チーム約300名が参加。真剣に、そして楽しく熱戦を繰り広げました。

6/10 好き嫌いなく食べて健康維持

渡利かのえさん（美甘）が、６月８日に百歳を迎えられました。80歳ごろまではゲートボールをしていましたが、現在は、テレビで相撲や時代劇を見るなど家でゆっくり過ごされているそうです。

6/13 地域の皆さんお待ちかね

第64回ふれあい市が、真庭高校久世校地農場で行われました。開始前からコッペパンなどを求める買い物客で長蛇の列ができていました。キャベツや玉ねぎなども１時間を待たずに完売し、大盛況でした。

6/14 ホタル守る文化残していこう

北房ホタルの発表会が北房文化センターで開かれました。ホタルっ子ミュージカルや北房地区小学校の研究発表などがあり、最後に「ほたる共生宣言」を発表。ホタルを大切にする文化の継承を確認しました。

フィナーレは、出演者全員で「夏和」を演奏

迫力のある音で魅了

夏彩和太鼓フェスティバル

第13回夏彩和太鼓フェスティバルが６月８日にエスパスホールで開催されました。市内の早川太鼓、櫻木坊天狗太鼓をはじめ県北の９団体が参加し17曲を披露しました。見事なばちさばきと迫力のある演奏で約５００人の聴衆を魅了しました。最後の曲目は、出演団体１００人が舞台に上がり、この日のために作曲した「夏和」を披露し、客席と舞台が一つになりました。出演者、聴衆共に和太鼓に酔いしれた一日でした。

学生服を着て懐かしの世界にタイムスリップ

学校給食が装い新たに

学生服ありがとうセレモニー

６月17日、「なつかしの学校給食」に新しい学生服が贈呈されました。学生服を贈呈したのは、真庭市とトンボの森づくりプロジェクトで連携のある学生服メーカーのトンボ。贈呈に合わせて、旧遷喬尋常小学校でセレモニーが開催され、詰め襟やセーラーなど80着と目録が、学校給食を提供している、まにワッショイの代表らに渡されました。出席した関係者は、さっそく学生服を着て給食をいただきました。

このコーナーは、皆さんや支局から寄せられた情報で作成していきます

広報真庭 7月号 平成26年7月1日発行（通巻111号）
■発行 真庭市役所 ■編集 総合政策部秘書広報課
■秘書広報課 Eメール hisho@city.maniwa.lg.jp

〒719-3292 岡山県真庭市久世2927-2 TEL0867-42-1163
ホームページ http://www.city.maniwa.lg.jp

真庭の夏はチャレンジの夏!

子どもたちにとって楽しみな季節がやってきました。真庭ではこの夏もイベントが盛りだくさん。夏のイベント情報をまとめた「岡山・真庭の自由研究帳」ができました。市役所窓口や観光施設などのパンフレット置き場にありますので、ぜひご利用ください。いろんなことにチャレンジして、とっておきの思い出を！

写真はイメージです

今年もあの幻想風景に出会える!
神庭の滝ライトアップ

■日時 8月1日㈮～3日㈰ 19:00～21:30
※駐車場に限りがあるため、なるべく乗り合わせてお越しください。
※夜間のため懐中電灯などをご持参ください。
入場無料
問 勝山支局総務振興課 TEL0867-44-2607

観光回廊まにわ真庭

ハンザキを描いた一対ののれんが、オオサンショウウオ保護センターに展示されました。撮影していてふと呟いた言葉は「いいなぁ」。作品が素晴らしいのはもちろんですが、殺風景な感じがしていた部屋に鮮やかな色が加わった影響もあったのかもしれません。今年は「痩せたい」ではなく、「いいなぁと言われますように」と短冊に書こうかな。　小山

実は何度か自転車で通勤をしてみたことがあるのですが、そこそこ距離があるものですから片道なんと45分。おびただしい量の汗をかいて翌日からは筋肉痛…。あれはまるで「惨走」でした。自転車を使って散歩をするように走る「散走」。新しいスタイルの楽しみ方でいいですね。久々に自転車にでも乗ってみようかな。今度は急がず焦らずのんびりと。　江崎

真庭高校のふれあい市に取材に行きました。行く前に、コッペパンがおいしいという話を聞いていて、取材が終わってから、残っているようなら買って帰ろうと思っていましたが、なんのその。開始前に会場に行くと、すでに長蛇の列。それを見た瞬間に諦めました。当日は大盛況。高校生たちのテキパキと働く姿に、感心しました。心残りは…コッペパン。　横山

この広報紙は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。

この印刷の一部には、水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。

この広報紙は、再生紙を使用しています。